

「こがねいガラをもっと楽しむための音楽講座」

レジュメ

2023年10月2日(月) 15:00 開講

小金井 宮地楽器ホール 小ホール

【お話】 茂木大輔 (指揮者)

【ゲスト・演奏】 杉本真木 (オーボエ)

出羽真理 (ピアノ)

「リヒャルト・シュトラウス」を楽しもう



Richard Strauss (1864-1949)



* 「オーボエ協奏曲」第1楽章より

- ・ ミュンヘンとシュトラウス
- ・ 二人のシュトラウス
- ・ 親はホルン奏者
- ・ シュトラウスの代表作：交響詩とオペラ

<音源>

- ♪ オペラ《サロメ》
- ♪ 交響詩《英雄の生涯》
- ♪ 交響詩《ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら》
- ♪ 交響詩《ドン・ファン》

<オーボエとピアノによる演奏>

- * 交響詩《ドン・ファン》のソロ
- * オペラ《薔薇の騎士》のソロ
- * オペラ《サロメ》より〈7つのヴェールの踊り〉冒頭のソロ

- ・ 指揮者、作曲家、マーラー、シェーンベルク
- ・ 大活躍と、時代との関係性
- ・ 2つの戦争、バイロイト、ナチとの関係
- ・ (晩年) アメリカ兵士ジョン・デ・ランシーのシュトラウス訪問



* 「オーボエ協奏曲」第2楽章

<音源> 《最後の4つの歌》より 第3曲〈眠りにつくとき〉

第4曲〈夕映えの中で〉

歌詞対訳：ウィキペディアより転載
[https://ja.wikipedia.org/wiki/4つの最後の歌_\(リヒャルト・シュトラウス\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/4つの最後の歌_(リヒャルト・シュトラウス))

Beim Schlafengehen

Hermann Hesse

Nun der Tag mich müd' gemacht,
soll mein sehnliches Verlangen
freundlich die gestirnte Nacht
wie ein müdes Kind empfangen.

Hände, laßt von allem Tun,
Stirn, vergiß du alles Denken,
alle meine Sinne nun
Wollen sich in Schlummer senken.

Und die Seele unbewacht,
Will in freien Flügen schweben,
Um im Zauberkreis der Nacht
tief und tausendfach zu leben.

Im Abendrot

Joseph von Eichendorff

Wir sind durch Not und Freude
Gegangen Hand in Hand,
Vom Wandern ruhn wir beide
Nun überm stillen Land.

Rings sich die Täler neigen,
Es dunkelt schon die Luft,
Zwei Lerchen nur noch steigen
Nachträumend in den Duft.

Tritt her, und laß sie schwirren,
Bald ist es Schlafenszeit,
Daß wir uns nicht verirren
In dieser Einsamkeit.

O weiter, stiller Friede!
So tief im Abendrot
Wie sind wir wandermüde –
Ist das etwa der Tod?

眠りにつくとき

ヘルマン・ヘッセ

今は一日に疲れてしまった
私の熱い望みもすべて
喜んで星夜に屈しよう
疲れた子供のように

手よ、すべてをそのままにせよ
額よ、すべての想いを忘れよ
私のすべての感覚が今は
眠りに沈むことを望んでいる

そして、解き放たれた魂は
自由に飛び回りたがっている
夜の魔法の世界の中へ
深くそして千倍生きるために

夕映えの中で

ヨーゼフ・フォン・アイヒェンドルフ

私たちは苦しみと喜びとのなかを
手に手を携えて歩んできた
いまさすらいをやめて
静かな土地に憩う

まわりには谷が迫り
もう空はたそがれている
ただ二羽のひばりが霞の中へと
なお夢見ながらのぼってゆく

こちらへおいで ひばりたちは歌わせておこう
間もなく眠りのときが来る
この孤独の中で
私たちがはぐれてしまうことがないように

おお はるかな 静かな平和よ！
こんなにも深く夕映えに包まれて
私たちはさすらいに疲れた
これが死というものなのだろうか？

◆プロフィール

茂木大輔（指揮者） Daisuke Mogi, Conductor



国立音楽大学でオーボエを丸山盛三氏に師事。音大在学中に新星日本交響楽団入団。ポリショイ・バレエなどと演奏し、音楽鑑賞教室の司会なども務める。卒業直後に、G.パッシン教授のレッスンと演奏から大きな衝撃を受け、ミュンヘン音大への電撃留学が決定。渡独後、バンベルク響などで首席奏者として多数客演。86年からシュトゥットガルト・フィルの第1オーボエ奏者、90年NHK交響楽団首席奏者として入団。98年からは指揮活動も開始。『のだめカンタービレ』での取材協力、音楽監修や演奏演技指導などを機に「のだめ音楽会」を企画・全国展開。

2009年より東京音楽大学および大学院にて指揮を学び、13年優秀な成績をもって卒業。指揮を故岩城宏之、外山雄三、広上淳一の各氏に師事。仙台フィル、東フィル、PAC、九響など全国多数の団体を指揮している。19年N響を退職、現在専業指揮者+東京音大指揮科助教。執筆でも知られ、最新刊は『交響録・N響で出会った名指揮者たち』（音楽之友社）。

杉本真木（オーボエ） Maki Sugimoto, Oboe



©小澤明子

16歳よりオーボエを始め、齋藤勇二、故丸山盛三の両氏に師事。小金井市立緑中学校、都立国分寺高校を経て国立音楽大学卒業。1997年に東京フィルハーモニー交響楽団に入団、現在に至る。東京フィルでの活動の傍ら国内外のオーケストラにも定期的に首席客演。2022年には東京芸術劇場ナイトタイムオルガンコンサートに客演、NHK-BSにて生中継される。この時の新山恵理(Org)との演奏が好評を博し、横浜、浜松、名古屋と再演が続いている。年間100を越えるコンサートはあらゆるジャンルに渡っている。小金井市から一歩も出ることなく住み続けて半世紀。地元に着した演奏活動にも力を入れている。

出羽真理（ピアノ） Mari Izuha, Piano



15歳で全日本学生コンクールに入賞。東京藝術大学在学中より、NHK教育『ピアノのおけいこ』で助手を務めるなど、演奏活動を開始。卒業後は、室内楽の演奏会、国内外の音楽祭への出演を重ね、共演者から絶大な信頼を寄せられる。2014年より同ホールで小金井市在住クラリネット奏者・藤井洋子とのデュオ「アンサンブル・フォンターナ」として、これまで9回のコンサートを開催している。小金井市在住。

◆こがねいガラ 2023・インターン生のご紹介

<オーボエ・インターン生>

田中絵梨香 Erika Tanaka, Oboe

大分県立芸術緑丘高等学校、大分県立芸術文化短期大学卒業。現在、国立音楽大学4年次在学中。第25回「万里の長城杯」国際音楽コンクール 管楽器大学生の部 第1位および審査委員長賞受賞。全日本管楽コンクール2023 大学生・院生部門 第3位。また、アンサンブル Amusephilharmonie を立ち上げ、地元大分での演奏活動も行っている。これまでにオーボエを山田幸代、大城裕美、高田喜夫、辻功の各氏に、室内楽を坪井隆明、武田忠善の各氏に師事。



こがねいガラ・インターンシップ

2012年の開館当初から続く、小金井ゆかりの音楽家とその仲間たちが集う「こがねいガラ・オーケストラ」では、21年より若い世代を対象にインターンシップを開始。オーディションに合格し、メンバーの指導を受けたインターン生は、オーケストラの一員として本公演に出演します。

<2023年度インターン生>

ヴァイオリン 新井桃子、小川尚也
ヴィオラ 清水咲里、矢嶋みのり
オーボエ 田中絵梨香